

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校
学校通信

桜の学び舎 細野小

令和3年度
第6号(8/31発行)

文責：衛藤慎二

1学期後半スタート 8/25

1学期後半がスタートにあたり、「**人権感覚**」「**感染予防**」「**熱中症対策**」を大切にし、9/12の運動会を目指しましょうと子供たちに伝えました。

新型コロナウイルスに関しては、いつだれが感染者になるかもしれないという状況です。今回は、さかなクンの書いた『さかなのなみだ』という絵本を活用してメッセージを伝えました。



【あらすじ】

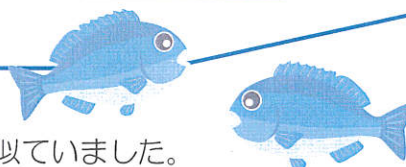
中学時代、ぼくが見たいじめは、魚の世界と似ていました。

例えば、メジナという魚は、海の中では、仲良く群れて泳いでいます。

しかし、せまい水槽と一緒にいたら、1匹を仲間はずれにして、攻撃しはじめたのです。ケガをして可哀想で、その魚を別の水槽に入れました。

すると残ったメジナは、他の1匹をいじめはじめました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても、新しいいじめっ子が現れます。

広い海の中なら、こんなことは無いのに、小さな世界に閉じ込めると、なぜか、いじめが始まるのです。同じ場所に住み、同じえさを食べる、同じ種類どうしです。



この『せまい水槽』って、コロナウイルスの深刻な影響を受けている今の社会に似ていませんか？

コロナ渦において、人々もマスコミも、一部のルールを守らない人々の現在や過去の言動を厳しく批判する傾向があるように感じます。

閉ざされた水槽の中では、魚の本能として、1匹をいじめめる傾向があるようです。この本能は私たち人間にもあるのかもしれませんが、その本能に打ち克つために、道徳を中心に学校の勉強があるんだよという話をしました。



最後に、インターネット上に書き込まれたコメントや画像などは、一度拡散されると消すことが困難で、半永久的にインターネット上に残されるという『デジタルタトゥー』の話もしました。

『コロナに感染した人』は被害者です。決して、その人やその周りの人を責めたり、差別したりすることのないように地域ぐるみで確認できたら有り難いです。

鉛筆・箸を正しく持てる子供に

小林市では、小学校1年生に鉛筆の握り方のグリップを配付して、正しい鉛筆の握り方ができるように指導の徹底を図っています。この鉛筆の握り方がしっかりとできると、誰でも箸をキレイに持てるようになります。御家庭でも是非、お子さんの鉛筆・箸の握り方をチェックしてみてください。

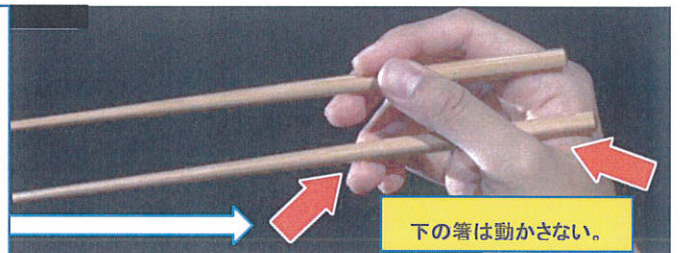
箸を正しく持てる
2つのポイント

鉛筆も上の箸も持ち方は全く同じ



上の箸は、鉛筆の持ち方と全く同じで、親指・人差し指・中指の3本の指で持ちます。

下の箸は、親指の付け根と薬指の爪で挟むだけでOK



下の箸は動かさない。

ポイント① 上の箸は3本の指で

上の箸は、鉛筆の持ち方と全く同じで、親指・人差し指・中指の3本の指で持ちます。

ポイント② 下の箸は動かさない

食べ物をつかむ際、基本的に動かすのは上の箸だけで、下の箸は全く動かしません。

一人一台のタブレットを有効に活用しています

1人1台のタブレット環境がこんなにも早く整うとは、これも『コロナプラス』の一つかもしれません。細野小でも様々な場面で、タブレットを活用した学びを実践しています。今後も活用の幅を広げられるよう努めていきます。

一方で、本日の宮崎日日新聞に2年生の本山真未さんの作品が掲載されました。

タブレット等のメディアは大変便利になりましたが、一方で「ノーメディア」を意識し、アナログを実感する大切さについても改めて、考えさせられました。

タブレットが、教科の目標を達成するための1つのツール（活用自体が目的にならない）ということを意識し、下記のような活用に努めています。

【カメラ・動画機能】

- 観察記録、見学記録、作品記録、発表用の資料等
- 体育の時間に自分の動き等の確認

【ドリル学習等】

- 算数・漢字ドリルとして活用（学習の確認・定着）

【学習状況の把握】

- 児童の学習状況の蓄積
- 児童へのアンケート等の提示（リアルタイムで）

【調べ学習・プレゼンテーション等】

- 調べ学習や調べた情報の整理
- 発表するプレゼンテーション等

【考えを見える化するツールとしての活用】

- 自他の意見をタブレットを活用して表現
※ これまで模造紙等にまとめていた内容をタブレットで集約
- 互いの考えの共有・比較・検討

令和三年八月三十一日
宮崎日日新聞

ノーゲームの日

細野小2年

本山 真未

7月8日は、さんかん日でした。「ノーゲーム・ノースマホ」のじゅぎょうでした。わたしは、家でゲームをするときは、しゅくだいや時間わりなど、やらなければならぬことをおわらせないとゲームをしたらいけません。

だから、「ノーゲームの日」がないので、おかさんと話し合っ、「ノーゲームの日」をきめました。それは、水曜日にきめました。これをちゃんとまもってゲームをします。そして、さんかん日に、妹のまほがきてくれてとっでもうれしかったです。

(小林市)